

# AQP 環境 ISO ニュース

## 北九州市「史上最大のゴミ拾い大作戦」に AQP も参戦

世界の環境都市を目指す北九州市は、10月1日～7日を「清潔なまちづくり週間」と定め、10月3日には「市民いっせいまち美化の日」として、市民や事業者を主体にした「ゴミ拾い大作戦」を行いました。この取り組みは、市民による地域美化、環境意識の向上を図ると共に、ゴミ拾いに集まった人数をギネス申請するといったものです。AQP 北九州工場にも北九州市から参加要請があり、休日者、夜勤者を中心に昼勤者や協力会社の協力を仰ぎ参加しました。



秋晴れの大作戦当日、13:00 に北九州工場玄関前に集合した参加者は AQP、小原運輸、壺屋の各社長を含め 38 名 (AQP 22 名、小原運輸 10 名、壺屋 2 名、ASK 4 名) という当初の参加予想を大きく超える参加人数でした。



加治屋総務部長から、収集範囲の説明を受け、用意されたゴミ袋をもち、工場前の竹馬川周辺を中心に 15 時 00 分までの約 2 時間行いました。あまり無いように思われた工場周辺のゴミは予想外に多く、ゴミ袋 50 個、子供用自転車や 18 号缶、廃タイヤ、消火器 2 本などといった、あまりうれしくない戦果を得ましたが、参加者の顔には地域環境に貢献した満足感にあふれていました。当初の参加予想人数よりも多くの人に参加してもらい、環境 ISO の取り組みで工場内の環境意識が高まっていることを実感することが出来ました。



北九州市の発表では、「ゴミ拾い大作戦」に参加した人数は7万0126人。今年7月に6万9339人を集め現在ギネス申請中の愛媛県松山市の記録を大幅に上回る結果となりました。来年以降も取り組まれるようであれば、さらに多くの参加者を期待したいと思います。



総勢38名(AQP、ASK、小原運輸、壺屋)が参加



ギネス参加者全員に配布された  
証明書

